

生命保険会社におけるデジタル化推進に向けた「ITガバナンス」の取組状況
相互運用性の向上に向けた、SWIFTのISO20022移行対応に関する

日時:2023年6月13日(火) 15:00~16:10 入室14:40

会場:オンラインライブセミナー / 翌日以降アーカイブ配信(要事前申込)

受講料:FISC会員及び子会社の役職員(※)無料

一般 1,000円、教育機関 500円(消費税込)

※FISC会員企業の子会社については、申込フォームの備考欄に「子会社」と記載し、子会社であることが確認できる、ディスクロージャー資料、有価証券報告書が掲載されているホームページURL、又はホームページ上記載にて確認できる資料等について、ご記入ください。(別途メールにて送付可。確認できない場合は、原則として受講をお断りさせていただきます。ご不明な点等、ございましたらご連絡ください。

事前登録制

*動画視聴のみの場合も申込が必要です

15:00~15:05 FISCニュース 当センターの調査研究活動についてご説明いたします。



15:05~15:40 (質疑応答含む)

生命保険会社におけるデジタル化推進に向けた「ITガバナンス」の取組状況

講師:小野 貴史(調査部 主任研究員)

金融機関は、経営戦略の実現に向けてITガバナンスを機能させ、企業価値の創出を図ることが求められている。ITガバナンスに関する取組みについて、地域銀行を対象としたレポートを2021年4月に発刊した。

今回は、超長期を中心とした生命保険契約の情報を管理する必要から、システムの保守にリソースを割く必要がある生命保険会社を調査した。保守を行いつつも、新規開発への積極的な投資などによってITガバナンスを有効に機能させるためのさまざまな施策に取り組んでいる事例を紹介する。



15:40~16:10 (質疑応答含む)

相互運用性の向上に向けた、SWIFTのISO20022移行対応に関する国内金融機関・ITベンダーの取組み

講師:齊川 真介(調査部 主任研究員)

近年、仕様の異なるデータ等をスムーズに連携する「相互運用性」の向上を目指したサービスの提供が、さまざまな業種で見られる。金融業界における「相互運用性」向上の事例として、SWIFTのISO20022移行対応が挙げられる。

SWIFTのISO20022移行対応については、2025年11月の移行完了を目指して、取材したすべての金融機関は段階的に取り組んでおり、また、一部の先においては、移行対応を外為事務及び取引先のシステム対応の高度化の機会と捉え、さまざまな取組みに着手しようとしていた。これらの取組事例について紹介する。

- ▶開催方法: LIVE配信 Webex Webinars使用
- ▶申込方法: 5月8日より、当センターホームページ (<https://www.fisc.or.jp>) からお申込み下さい。別途、当日午前中までに、Webexより招待メールを送付させていただきます。
- ▶動画配信: 後日、動画配信いたします。アーカイブ配信視聴の場合も、お申込みが必要です。※ご視聴にはPWが必要となります。セミナー終了後、視聴用PWをメールにて送付させていただきます。